

# ！市民のわ

## フレッシュさん

このコーナーでは、まちのフレッシュさんをリレー方式で紹介します。大崎さんは前回の場合さんの紹介です。



おおさき のりかさん  
(23歳・八幡町)

保育士時代に放課後児童クラブで障害がある子と出会い、そのかわりに悩み、専門的に学べる場を求めて転職。今年の4月から県立七尾特別支援学校(二下町)の寄宿舎で寄宿舎指導員として働く。自宅から通学できない障害のある子どもたちが、日中は学校へ通い、放課後は寄宿舎(寮)で過ごす。大崎さんは、昼夜を問わず交代で子どもたちの生活全般の指導や支援にあたる。

「ここにいると、今まで当たり前だと思っていたことが当たり前ではないことを感じます。感謝の気持ちが強くなりましたね」と充実した表情を浮かべた。

◆七尾市へひと言  
田舎らしい温かい部分は残しながら、夢をあきらめずいつでも挑戦できるまちであってほしいです。

出身地 千葉県八千代市



このコーナーでは、県外から市内へ転入された方の声を紹介します。

思えば  
遠くへ  
来たもんだ



たつ あけみ  
達 明美さん  
(30歳・石崎町)

「みんな温かい人ばかり。初めは呪文にしか聞こえなかった方言も今では大好き。里帰りで実家に帰った時に子どもたちが話す方言を聞く、何だかうれしくなります」と、身も心もすっかり石崎町だ。

だんなさんとの結婚を機に石崎町へ来たのが平成16年のこと。『石崎奉燈祭』を初めて見たときは、担ぎ手の勇ましさと奉燈の迫力に圧倒され、『正月よりも祭りが大事』ということに驚いたという。

千葉ではそんなに食べることのなかった魚も、今ではほとんど毎日食卓にあがり、豊富な海の幸を存分に味わっている。

「この子がどの家の子なのかを近所の人たちは知っているの、地域が子どもを育てていることを強く感じます。子どもを育てる環境でこんないいところははないですね」と、母親として保育士としての顔も見せてくれた。

◆七尾のお気に入りとは？  
温泉ですね。能登島のひよっこり温泉や和倉の総湯が身近にあるので、祖父母や子どもたちとよく利用します。



七尾市長  
武元文平

戦没者慰霊式に参列する遺族の方々を見ると、高齢化が進み、腰が曲がり足を引きずった方が年々増えている。戦後65年のご苦労が姿に表れているようで本当に頭が下がります。国家の安泰と家族の平安を願って、国難に殉じた2,228柱の英霊の安らかならんことを祈ります。

愛する息子を亡くした親や、最愛の夫を亡くし、残された幼児を抱えて未亡人となった遺族の方々が、荒廃し混乱した戦後食べ物もない大変な困窮生活の中で、子を育て、家を守ってきたご苦労を思うと、慰める言葉もなくなつただけ感謝を申し上げるのみです。

最近思うに、今日の平和な日本の礎となられた戦没者の方々のことや荒廃した日本の復興に尽力された先人やご遺族の方々のことが忘れられつつあるのではないかと気がかりだ。若い人の中には、日本がかつてアメリカと戦争をしたことすら知らない人がいると聞き、本当に驚いている。戦後65年、戦争のことが風化しつつあるようだ。

戦前・戦中・戦後のあの大変な時代は再びあってはならないが、あの時代があって今日の平和で豊かな時代があることをきちんと次代に伝えていかなければ今日の平和は守られない。「歴史は繰り返す。戦争の悲惨さを知らない世代が続くと再び戦争が起こる」と言われた小学校の先生の言葉が今でも耳に残る。

私事ながら、父が戦死し、残された母と祖母がどのようにして5歳と1歳の子どもを育て、家を守ってきたかはわからない。私の戦争体験は、いつも腹を空かせたひどい思いしかない。米やサツマイモは兵隊さんのために供出し、家では大根めしや葉っぱ入りのおかゆを食べた。また、仏壇の灯明台や金具なども供出させられた。

終戦の年に小学校へ入学したが、教科書もノートもなく、教室に張られた大きなアイウエオや数の表を見ながら先生の話を聞いた。昼弁当のない子どもは他の子の弁当を盗んで食べるか、水を飲んで過ごしていた。私は父のいない悲しみや貧しさを生んだ戦争を大いにうらんだ。どんなことがあっても戦争をしてはならない。こんな悲しみや貧しさを繰り返してはならないと強く思う。「自国の歴史を忘れた民族は滅びに至る」といわれる。国の歴史・地域の歴史・先祖や家族の歴史を忘れず、子々孫々に伝えていかなければならない。

暑い8月は終戦の節目の月。不戦を誓い、平和を祈念し、苦しく悲しい戦争のことを語り、伝える月にしたいものです。

戦なき美しき日本、百代の後もつづけと願う八月十五日（加島清子）



このコーナーでは、市内のクラブ活動やサークル活動などを紹介します。



ベビーマッサージサークル  
Smile☆Baby

(代表 大葎原 奈美江さん)



「能登ではなじみの薄かったベビーマッサージを育児中のママに広めたい！毎日朝から晩まで育児に一生懸命なママたちがリフレッシュできる時間を作りたい！」との思いから、約1年前にサークルを立ち上げた。

ママのあたたかい手でベビーマッサージをすることで自然と赤ちゃんも笑顔になり、夜泣きや便秘の赤ちゃんにも効果があるという。ベビーマッサージが終わると、おやつを食べながらママ同士の気軽な情報交換がはじまる。「今まで出かける場所がなかったけど、出かけるきっかけになるし、自分がリフレッシュできる」とメンバーの評判も上々だ。

ぜひ一度参加してみたいはいかが？

◆活動日時：毎月第1・第3金曜日  
10：30～正午

◆場 所：御祓公民館

◆参加費：1回1,000円～1,500円程度  
〈次回の活動予定〉8月20日（金）

ママパティシエ～お菓子作り教室～

問 代表 大葎原(おおよしはら)さん  
☎58-1232

市長談話室

市政への思いやアイデア  
をお聞かせください！

①まちづくりに関すること、②生活環境に関することなど  
前向きなアイデアをお聞かせください。(個人・グループど  
ちらでも可。1組30分以内)

●8月24日(火) 15：00～17：00  
会場：中島市民センター 2階応接室

●9月14日(火) 15：00～17：00  
会場：七尾市役所 1階102会議室

※申し込みは1週間前まで  
(公務により中止になる場合あり)

問・申 市民男女協働課 ☎53-8633